

令和6年度（保土ヶ谷支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底) 【必須】	公務外においても公務員・教員としての自覚を持ち行動する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づく義務に加え、社会規範を確認し、適宜情報提供や注意喚起を行った。 ・毎月の不祥事防止会議で自己点検シートや事故・不祥事事例をもとに自己点検や事例研修を行った。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を活用し、各自で振り返ったり、小人数でグループ討議を行ったりすることで法令遵守の意識を高めることができた。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等) の防止【必須】	相手や周囲の方の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を素直に主張できる働きやすい職場環境を作る。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や職員啓発資料をもとに注意喚起を行うと共に、職員間でお互いの気持ちを受け止め、相談しやすい環境づくりを進めた。 ・管理職との面談等で意思疎通を図った。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハラスメントに対する意識は高まったが、業務多忙により職員間の意思疎通には課題が残った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	職員一人ひとりが決められたルールを遵守し、未然防止に当事者意識を持って取り組む。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導中は複数の教員で対応し、密室状態にならない環境づくりに努めた。 ・児童・生徒に対し、相談体制について周知した。 ・管理職は日常的に巡回し、指導状況を確認した。 ・職員は高い倫理観を持って行動し、不祥事防止に努めた。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員間で適切な指導環境や倫理に関する指針を共有し、当事者意識を持って不祥事防止に取り組むことができた。
体罰・不適切な指導の防止【必須】	児童・生徒の人権を尊重した指導により、体罰や不適切な指導を防止する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導中は複数の教員で対応し、密室状態にならない環境づくりに努めた。 ・児童・生徒が相談しやすい環境づくりに努めた。 ・各学部で具体的な行動指針を設定し、人権に配慮した行動に取り組んだ。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事故・不祥事防止会議に加え各学部で研修を行うことで人権に配慮した行動を実践することができた。 ○夏季休業中に人権研修を行うことで職員の人権意識が高まり、2学期以降の適切な指導につながった。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	個別教育計画・進路関係書類等の作成・保管・廃棄を、項目や内容に配慮し適正に行う。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成方法について各学部で共通理解を図るとともに、随時注意喚起を行った。 ・個人情報の適切な管理・保管に留意するとともに、誤配付がないように複数人で点検し、作業を進めた。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の作成・保管・廃棄等について職員間できめ細かく確認し、適正に取り扱うことができた。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー及び電子データの定期的な点検管理を行った。 ・個人情報の適正な管理・運用と環境整備を行った。 <p><達成状況></p> <p>○電子データについては定期的な点検に加え、7月には全体に呼びかけて整理と運用の適正チェックを行った。個人情報の扱いは、暗号化ファイルサーバでのデータ管理と鍵のかかるキャビネットでの管理を徹底している。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを徹底する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発資料を活用して、隨時注意喚起を行った。 ・事故を起こした際には迅速かつ適切に対応を行った。 <p><達成状況></p> <p>○未然防止に向けた取り組みを徹底し、酒酔い・酒気帯び運転等の事故もなく、目標を達成することができた。</p>
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	日常的に情報共有し、チームで事故を未然に防止する環境をつくる。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で仕事を抱え込まず、情報をチーム内で共有し複数で点検・確認しながら、各々の業務を進めることができた。 ・事故・ヒヤリハット事案を検証し、事故が起きやすい場面を共有することで、事故防止につなげることができた。 <p><達成状況></p> <p>○事故が起きた際は、関係者間で速やかに情報共有し対応策を協議することで事故防止のためのシステムづくりを行った。</p> <p>○Teamsのチャット機能を活用することで迅速に情報を共有し、点検・協力体制をとることができた。</p>
財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品等の適正な管理を行う。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私費会計マニュアルをもとに、会計処理を速やかに行うことができた。 ・ダブルチェックにより適正な会計処理を行うことができた。 <p><達成状況></p> <p>○会計処理に関しては、常に事故防止意識を持ち、適正に管理・執行することができた。</p>

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムの目標及び行動計画に基づき、全教職員が各学部・グループの業務内容に応じて適切に取り組みを進めてきた。毎月実施の不祥事防止会議では、テーマに沿って自己振り返り、意識の向上を図ることができた。

今年度の不祥事ゼロプログラムは、おおむね達成されたものと考えられるが、不祥事防止の取組は繰り返し行うことによる意義がある。引き続き風通しの良い職場環境をつくるとともに、会計処理のミスや個人情報の誤配付など、日常的に行いがちなミスをなくすよう徹底したい。

次年度に取り組むべき課題として、業務の効率化・縮減については今年度の実績を基に引き続き各学部・グループで業務の見直しを進めていきたい。職員の多忙感を少しでも減らすことで、結果的に事故・不祥事の発生防止にもつながると考える。そのため、引き続き働きやすい職場環境、同僚性の醸成を図っていきたい。